

第106期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日



ツガミ は常に世界No.1の 高精度 高速 高剛性の 工作機械を提供し続けます。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

さて、当社第106期第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の営業の概要につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高騰に、米国のサブプライム問題に端を発した金融危機の発生による不安定な株価・為替動向も加わり、景気後退感が強まり、先行き不透明な状況となっております。

工作機械業界におきましても、内需の停滞とともに比較的好調が持続していた外需の受注にも影響が出始めております。

このような状況の下で、当社グループは「成長分野を狙った新製品の投入と拡販」「成長地域を狙った事業戦略」「強い事業基盤の確立（顧客満足度の更なる向上）」を指すとともに、前年度に業務提携いたしましたスイス・トルノス社との提携効果の発露に努め、業容拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期累計期間の売上高は、15,289百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

また、当第2四半期累計期間の損益につきましては、営業利益は1,293百万円（前年同期比2.7%増）、経常利益

は1,326百万円（前年同期比4.9%増）、四半期純利益につきましては、米国金融危機に伴う世界同時株安の影響を受け、株式評価損を計上いたしました結果、△187百万円となりました。

当第2四半期末の配当につきましては、前期の中間配当と同様1株につき5円の配当とさせていただきます。なお、期末配当につきましても5円（年間10円）を予定しております。

当社といたしましては、株主のみなさまへの利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、安定配当と自己株式の取得を柱に連結業績の向上に応じた利益還元を実施してまいります。

また、引き続きお客さまのニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客さまに信頼され必要とされる製品の提供できる経営に全力で取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

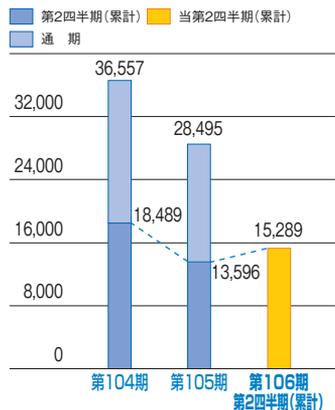
平成20年11月

取締役 社長執行役員 西嶋尚生

連結業績の推移

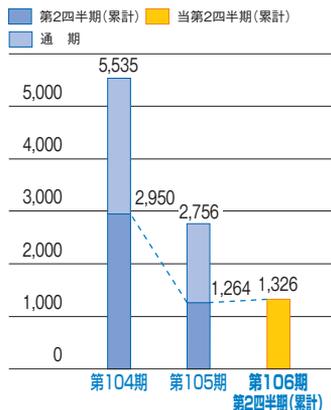
● 連結売上高

(単位：百万円)



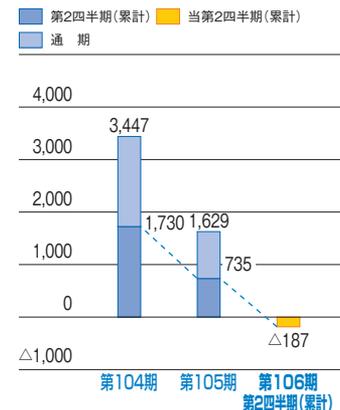
● 連結経常利益

(単位：百万円)



● 連結四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



● 営業成績および財産の状況の推移

区 分	第104期		第105期		第106期
	第2四半期(累計)	通 期	第2四半期(累計)	通 期	第2四半期(累計)
売 上 高(百万円)	18,489	36,557	13,596	28,495	15,289
経 常 利 益(百万円)	2,950	5,535	1,264	2,756	1,326
当期(四半期)純利益(百万円)	1,730	3,447	735	1,629	△187
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	22.95	46.36	10.17	23.03	△2.76
総 資 産(百万円)	35,145	35,943	32,718	32,732	31,553
純 資 産(百万円)	23,213	23,450	23,205	21,916	21,492
1株当たり純資産(円)	311.67	322.67	322.46	319.50	312.50

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (平成20年9月30日)	前 期 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産	21,894	22,735
現金及び預金	2,927	3,402
受取手形及び売掛金	8,610	9,662
たな卸資産	9,556	9,046
その他	800	624
固定資産	9,659	9,997
有形固定資産	6,931	7,035
建物・機械装置・運搬具等	5,976	6,170
土地	591	598
その他	363	266
無形固定資産	42	43
投資その他の資産	2,685	2,918
資産合計	31,553	32,732
負債の部		
流動負債	9,175	9,913
支払手形及び買掛金	7,780	8,220
未払法人税等	146	691
その他	1,248	1,000
固定負債	885	903
負債合計	10,060	10,816
純資産の部		
株主資本	21,112	21,623
資本金	10,599	10,599
資本剰余金	4,138	4,138
利益剰余金	6,399	6,936
自己株式	△ 24	△ 50
評価・換算差額等	122	66
その他有価証券評価差額金	56	40
為替換算調整勘定	65	26
新株予約権	256	226
純資産合計	21,492	21,916
負債純資産合計	31,553	32,732

● 四半期連結損益計算書(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
売上高	15,289
売上原価	12,020
売上総利益	3,269
販売費及び一般管理費	1,975
営業利益	1,293
営業外収益	121
営業外費用	89
経常利益	1,326
特別利益	11
特別損失	1,386
固定資産除売却損	7
減損損失	99
たな卸資産評価損	24
投資有価証券評価損	1,163
その他	91
税金等調整前四半期純利益	△ 48
法人税、住民税及び事業税	122
法人税等調整額	16
四半期純利益	△ 187

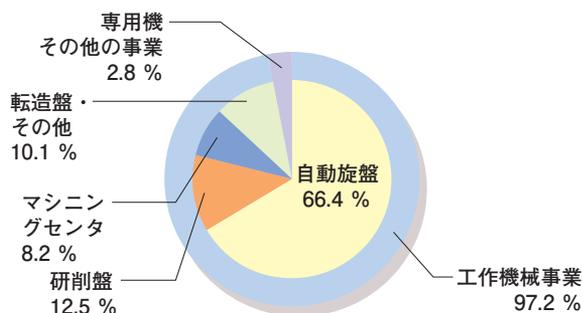
● 〔ご参考〕 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

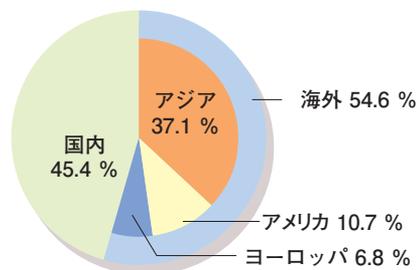
科 目	前第2四半期(累計) (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)
売上高	13,596
売上原価	10,610
売上総利益	2,985
販売費及び一般管理費	1,725
営業利益	1,260
営業外収益	56
営業外費用	52
経常利益	1,264
特別利益	34
特別損失	102
固定資産除売却損	4
減損損失	—
たな卸資産評価損	—
投資有価証券評価損	—
その他	96
税金等調整前中間純利益	1,196
法人税、住民税及び事業税	408
法人税等調整額	53
中間純利益	735

● 売上高構成比(連結)

● 事業の種類別・機種別売上高構成比(当第2四半期累計)



● 地域別売上高構成比(当第2四半期累計)



新製品を市場に投入

CNC精密自動旋盤 B0124／B0204／B0125／B0205

スイス型自動旋盤の主力機種であるB0の新シリーズ機として、「CNC精密自動旋盤B0124／B0204／B0125／B0205」を発表しました。

特に生産性と使いやすさを向上させ、各分野の高精度部品加工に対応しました。高速ロングストロークガイドプッシュ・主軸C軸割出し機能が新B0シリーズに搭載可能になりました。ネジ切サイクル短縮機能・ダイレクトC軸割出し機能等アイドル短縮機能の採用により生産性が向上します。自動プログラミングソフト・主軸上下芯出し機能・ツールカウンターも標準付属し操作性が向上しました。



CNC精密自動旋盤 BS125H／BS126H／BS205H／BS206H

ベストセラー機であるBSの新シリーズ機として、「CNC精密自動旋盤BS125H／BS126H／BS205H／BS206H」を発表しました。

アイドルタイム短縮、操作性向上、加工能力のアップ、ツガミ独自のソフト機能の充実を図っています。ダイレクトC軸割出し機能が搭載可能、自動プログラミングソフト・主軸上下芯出し機能・ツールカウンターの標準付属、退避式切削油ノズル、トグル落下防止構造の採用など多くの操作性を向上する機能が付属しています。また、主軸モーターのパワーアップも行い生産性も向上しました。



CNC高精度自動旋盤 C15-Ⅱ

高い評価をいただいているC15をモデルチェンジして「CNC高精度自動旋盤C15-Ⅱ」を発表しました。

くし刃型ツインXスライドにより精密加工と高生産加工を可能としました。高精度部品の両面を1台でオーバーラップ完成品加工ができます。バー材仕様、チャックワーク仕様の2タイプから選択できます。エアチューブレス主軸で高速加工にも対応できます。



CNC高精度自動旋盤 C18LH

くし刃型自動旋盤の新機種機として、「CNC高精度自動旋盤C18LH」を発表しました。リニアモータ駆動と2スピンドル、2刃物台により、高精度・高生産性に優れたくし刃型自動旋盤です。

HDD部品、小径高精度部品の量産加工に最適です。全軸に高速応答リニアモータを採用しました。うねり、バックラッシュが無く、微小輪郭形状を高精度に加工することができます。二つの主軸、刃物台を左右対称に配置したことで、同一部品の同時加工や表裏の同時加工が可能となりました。エアチューブレス主軸で高速加工にも対応できます。



立形高速マシニングセンタ VA31H/VA32H

マシニングセンタの新機種として「立形高速マシニングセンタVA31H/VA32H」を発表しました。高剛性・高速・コンパクトな本体をベースに重切削加工から高速加工まで対応できるように2種類の主軸から選択ができます。そのため幅広い部品加工に対応ができます。

低重心ベッド、ワイドコラム、トライアングル構造の主軸頭による高剛性構造を採用しました。ATCはシンプルなダイレクト方式を採用しChip to Chipは1.8秒と高速を実現しました。メンテナンスゾーンは機械後部に配置、複数台をコンパクトに並列配置が可能です。熱変位補正プログラムを付属し、寸法変化を最小に抑制できます。



立形高速マシニングセンタ VA35H

マシニングセンタの新機種として「立形高速マシニングセンタVA35H」を発表しました。素材からの高速削り出し加工に最適な高能率マシニングセンタです。50,000min⁻¹主軸を搭載、早送り速度48m/min、切削送り20m/minの仕様のため高速主軸と高速切削送りによる高能率切削で加工時間を短縮します。ツールホルダは、保持剛性が高く、ATC時の繰り返し精度に優れた二面拘束システムホルダを採用しました。

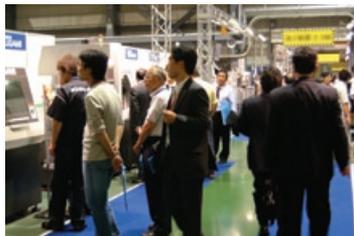


展示会開催 / 出展

2008年7月24日からツガミ長岡工場にて2008ツガミテクニカルフェアを開催しました。国内外より大勢のユーザー、ディーラー様に来場いただき、活発な商談を行いました。海外取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。

2008年9月8日からシカゴ（アメリカ）にてIMTS2008（シカゴショー）に出展しました。また欧州で代理店の展示会出展を積極的に支援しました。

2008ツガミテクニカルフェア



IMTS2008（シカゴショー）（アメリカ）



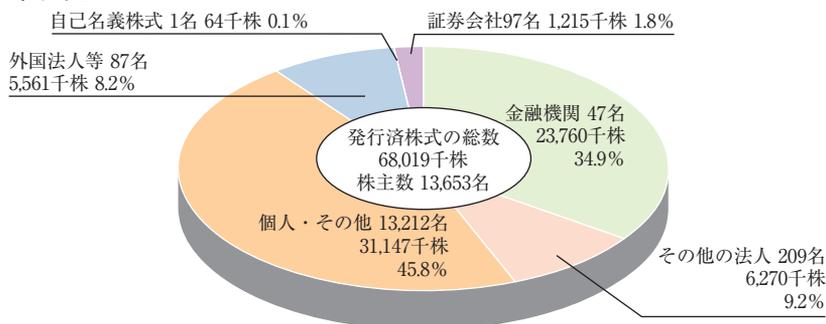
株式の状況 (平成20年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 320,000,000株
- 発行済株式の総数 68,019,379株
- 株主数 13,653名
- 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	出資比率	持株数	出資比率
	千株	%	千株	%
みずほ信託退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託	4,592	6.75		
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,024	5.91		
第一生命保険相互会社	2,100	3.08		
株式会社森精機製作所	2,000	2.94	100	0.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,684	2.47		
株式会社三井住友銀行	1,516	2.22		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,488	2.18		
株式会社北越銀行	1,484	2.18	470	0.18
ツガミ取引先持株会	1,294	1.90		
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	1,205	1.77		

- (注) 1. 出資比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. みずほ信託退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数4,592千株は、(株)東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は(株)東京精密が留保しております。また、当社は(株)東京精密の株式65千株(出資比率0.16%)を所有しております。

所有者別株式分布状況



株価と出来高の推移 (平成19年10月～平成20年9月)

年・月		平成19年			平成20年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
株価	高値(円)	464	499	400	340	354	348	374	406	424	388	358	310
	安値(円)	402	320	319	276	281	293	326	358	380	329	300	251
出来高(千株)		26,770	21,222	15,287	16,864	11,319	8,806	6,727	5,372	7,949	5,749	3,133	4,105

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準	期末配当の基準日は、毎年3月31日 なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号（郵便番号137-8081） 電話 0120-232-711（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店（下記ご注意ご参照） 野村證券株式会社 全国本支店
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ（ http://www.tsugami.co.jp/ ）に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
<p>【株式に関するお手続き用紙のご請求について】</p> <p>株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。</p> <p>電話 0120-244-479（通話料無料） インターネットアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/</p>	

（ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

株券電子化実施に伴うお知らせ（施行日は平成21年1月5日の予定）

1. 特別口座について

(1)特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株主さまにつきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます（平成21年1月26日に記録される予定です）。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

(2)特別口座に記録された株式に関する手続き

特別口座に記録された株式に関する手続き（株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・お届け住所の変更・配当金の振込指定等）につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）の連絡先にお問合せください。なお、特別口座に記録された株主さまのお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。

(3)特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号（郵便番号137-8081） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）

(4)特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日（月）以降にお手続きが可能となりますので、ご留意ください。

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取のご請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取のご請求につきまして、以下のとおりとなりますのでご留意ください。

(1)保管振替制度をご利用でない単元未満株式

平成21年1月5日（月）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日（木）から12月30日（火）までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日（金）とさせていただきます。

(2)保管振替制度をご利用の単元未満株式

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。

具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

<ご参考>

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A（<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>）等をご参照ください。

また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、

「株券電子化」なんでも相談窓口（「株券電子化コールセンター（*）」）

電話 0120-77-0915（通話料無料。平日・土曜/9:00~17:00）までお問い合わせください。

（*）株券電子化コールセンターは、（株）証券保管振替機構、日本証券業協会、（株）東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。



古紙バルブ配合率100%再生紙を使用しています



地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています